

産業サイバーセキュリティ研究会
ワーキンググループ1(制度・技術・標準化)
宇宙産業SWG(第7回) 議事要旨

1. 日時・場所

日時：令和5年8月29日（火） 16時30分～18時00分

場所：三菱総合研究所4F 会議室CR-D・Eにて開催

2. 出席者

委員：坂下委員（座長）、安達委員、片岡委員、木下委員、小山委員、佐々木委員、名和委員、丸山委員、吉松委員

オブザーバ：宇宙産業SWG作業部会コアメンバー及び拡大メンバー

経済産業省：製造産業局宇宙産業室 室長 伊奈 康二

商務情報政策局サイバーセキュリティ課 課長補佐 加藤優一

3. 配付資料

資料1 議事次第・配付資料一覧

資料2 委員等名簿

資料3 第6回宇宙産業SWG議事 要旨

資料4-1 産業サイバーセキュリティに関する動向について

資料4-2 情報・サイバーセキュリティの基本と動向

資料4-3 制御システムセキュリティの最新動向【一部非公表・投影のみ】

資料5 事務局説明資料

4. 議事内容

1) 宇宙産業SWG開催挨拶

事務局から、対面での開催を行うとの説明があった。

2) 安達委員からの挨拶

鹿志村委員から委員交代に伴い、安達委員より挨拶があった。

3) 委員及び経済産業省からのプレゼンテーション

(1) 経済産業省サイバーセキュリティ課加藤課長補佐から『産業サイバーセキュリティに関する動向について』について情報提供があった。

(2) 丸山委員から『情報・サイバーセキュリティの基本と動向』について情報提供があった。

(3) 佐々木委員から『制御システムセキュリティの最新動向』について情報提供があった。

4) 事務局資料説明

(1) 事務局より、以下のアジェンダに基づいて情報提供があった。

(ア)宇宙分野における海外のサイバーセキュリティ対策等について

(イ)今年度の作業部会の活動方針について

(ウ)ガイドラインVer2.0に向けたアップデート方針について

(エ)情報共有のあり方に関する検討方針について

(オ)今後の予定について

5) 自由討議

(1) 各委員からの主な意見

- ・ OT の内、宇宙という専門的範囲を検討するのが本 SWG と理解している。他方、IT の部分や、IT・OT のコンタミネーションを防ぐという観点は工場 SWG や他の重要インフラでも同様に重要であり、その内容をまとめる必要があると理解した。今回事務局からされたプレゼン内容は、宇宙防衛に取り組んできた身としては新しい話ではないものの、今後、このような話に触れてこなかった人にとっても浸透させていく必要がある議論として理解した。高度な対策に加え、最低限実施すべき対策を取り上げるというメリハリを今後のアップデートに加えられるとよいのではないかと。
- ・ 今年の取り組みの中で、セキュリティポリシーの雛形を作成するとあるが、粒度が不明確ではないか。規定の体系を示した上で、対象とする雛形の位置づけを示した方がよいのではないかと。
- ・ 各国で新しいガイドラインが続々と作成されていると理解した。米国のガイドラインや EU のガイドライン等、それぞれの包含関係や主従関係などの整理をしてほしい。実務者視点では、確認すべき諸外国のガイドラインが一目でわかるとよい。前回 SWG の資料の米国文書の体系図のような整理があるとわかりやすい。
- ・ ロシアの通信事業者に対する攻撃事例が紹介されていたが、本事例の影響範囲は、経済産業省ガイドラインが防御したい典型的な事例ではないか。本ガイドラインは CPSF をベースとし、組織だけではなくシステムも対象となっているため、マルチステークホルダーを考慮しているのが強みだと考える。外部へのアピールとして、単なる CSF とのマッピングだけではないということを示していくとよいのではないかと。
- ・ 事業者としては調達基準になるのかが懸念である。本ガイドラインの位置づけを明確化できると良い。

6) その他

最後に事務局から、今後のスケジュールについて以下のとおり連絡を行った後、閉会した。

- ・ 次回の第 8 回会合については、今回の議論を踏まえた検討を行ったのち、事務局から日程調整を行わせていただく。

以上

お問合せ先

製造産業局 宇宙産業室

電話：03-3501-0973